

Twitter のツイートを利用したライフログシステムの提案

研究系卒研 制作系卒研

078070 小林拓夢

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

ライフログとは、日々の出来事などをデジタルデータに保存することである。ライフログは日記帳や手帳のようなアナログデータではないため、データは永遠に色あせなく、何度でも簡単に複製、検索、解析がしやすく、過去の情報を閲覧することでこれからの行動に役立てることができる。

近年、利用ユーザー数を増やしている Twitter は、日々何か思ったことや、出来事などをつぶやくサービスであり、この Twitter はこのままでも十分にライフログとして活用できると考えられるが、Twitter をライフログとして活用するには問題点も多い。また、Twitter 上のツイートをログに残すサービスはいくつかあるが、それらのサービスをライフログとして活用する場合には問題点や不便な点が多い。

そこで、本研究では Twitter のツイートをライフログとして活用するのに適したシステムを提案する。

2. 提案システム

本システムは TwitterAPI を利用し、利用ユーザーに関連のある様々なデータを取得・蓄積し、それらのデータを表示・検索・編集などを行うことでライフログとして活用できるようにするシステムである。

2.1 ログの取得と表示

Twitter から取得するデータは、利用ユーザー自身のツイートやメンション、ダイレクトメッセージ、会話のツイート、ユーザーが自分のログに記録したいツイート（天気、ニュース、友人のツイートなど）等である。また、コメント機能を利用することで、後から情報の追加を行うこともできる。

ログを閲覧するときには、カレンダー機能や時系列表示を利用することで、ライフログとして閲覧しやすいように表示する。また、会話のツイートの場合、その会話の流れを一覧で表示することも可能である。図 1 にメイン画面を示す。



図 1 メイン画面

2.2 ログの検索・分類

カレンダーからログを閲覧する方法の他に、キーワード検索を行うことで任意の言葉から過去のログを探し出すことができる。また、ラベル機能を利用することで、ログの分類と表示を行う事ができる。

3. 評価結果

Twitter を利用している 7 名にシステムを利用してもらい、5 段階評価と自由回答の評価実験を行った。以下に評価実験の結果の一部を抜粋して表 1 に示す。

表 1 評価結果

質問内容	平均点
システム利用時、自分が残したいログを残す事ができたか	4.29
システム利用時、過去の日に対して、その日何をしていたか分かるか	4.29
過去の情報を探したい時、目的の情報を探し出せるか	4.14
コメント機能・ラベル機能は使いやすいか	3.89
システムは使いやすいか	3.57
システムを利用したいか	4.43

全体的に高評価を得ることができ、ライフログとして重要な「ログを残すことができる」「ログを見て何をしていたか分かる」の 2 項目に対しては平均 4.29 の評価を得ることができた。また、システムを利用したいという項目に対しては 4.43 の評価を得ることができた。特に Twitter のヘビーユーザーほど高評価であった。

4. おわりに

評価結果から本システムを利用することで Twitter のツイートをライフログとして活用できるようになった。しかし、インターフェースやコメント・ラベル機能に関してはまだ改善の余地があると言える。今後はシステムの改善とさらなる機能の追加を行いたい。

参考文献

- 1) ゴードン・ベル&ジム・ゲメル：ライフログのすすめ, hayakawa 新書 juice
- 2) 日経 BP 社出版局: Twitter の衝撃, 日経 BP 社